作成　2019年8月

少しでも被害を抑えよう
ジャンボタニシ対策こよみ

年間防除で被害軽減！
農薬と石灰窒素を上手に使おう！

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ジャンボタニシ活動期間							冬眠（気温14℃以下～）				

稲を食べる期間
（田植後2～3週間）

地域に広まってしまったジャンボタニシを完全に駆除することはほぼ不可能です。
被害を最小限に抑えるために、地域全体で防除しましょう！

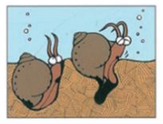
農薬・石灰窒素（粒）による防除

田植前　石灰窒素による防除手順

秋に散布できない場合

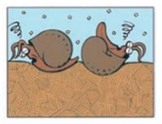
STEP 1
荒起し後、3～4cm湛水し、3～4日放置してください。ジャンボタニシが活動を始め、水中に出てきます。

POINT!
ジャンボタニシは、水温が15℃以上になると活動が活発になります。



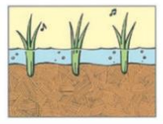
STEP 2
石灰窒素２０～３０ｋｇを全面にむらなく散布して３～４日放置してください。

POINT!
石灰窒素の農薬成分が殻貝効果を発揮します。



STEP 3
代かきを行い、2～3日おいて田植してください。

POINT!
強制落水せず、自然減水を待つ



※薬害が生じる恐れがありますので石灰窒素を散布してから田植えまで7日以上空けましょう。
※窒素が含まれますので基肥量の調整が必要です。
JA営農渉外担当までご相談ください。

スクミンベイト3 2～4kg/10a
または
スクミノン 1～4kg/10a
→ ※必要に応じて2回目の防除をしましょう（スクミノンは使用回数、年2回以内）

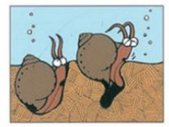
石灰窒素による防除方法については
圃場に湛水できることが大前提となります。

ジャンボタニシ防除には、
農薬登録のある石灰窒素
を使用してください。

貝を素手で触らない

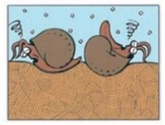
水稲収穫後　石灰窒素による防除手順

STEP 1
ジャンボタニシの活動を促すために水温が１５℃以上の時期に３～４ｃｍ湛水し、１～４日放置してください。ジャンボタニシが活動を始め、水中に出てきます。



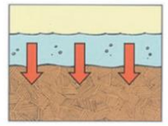
STEP 2
石灰窒素２０～３０ｋｇを全面にむらなく散布して３～４日放置してください。

POINT!
石灰窒素の農薬成分が殻貝効果を発揮します。



STEP 3
田面水は用水路に流さずに、必ず自然落水を待ってください。

POINT!
強制落水せず、自然減水を待つ



STEP 4
田面が乾いた後、５～１０ｃｍ程度浅く耕うんしてください。

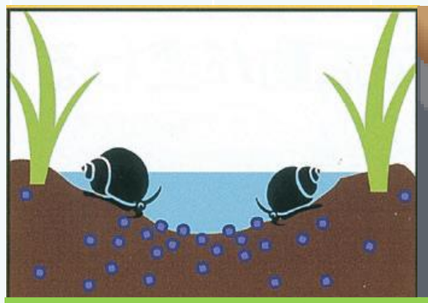
POINT!
この作業を行うことにより、石灰窒素の効果で稲わらの腐熟が促進されます。

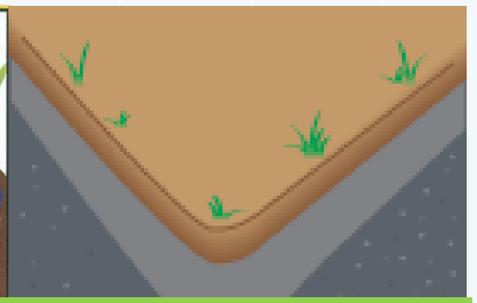
石灰窒素は農薬成分として登録されています。収穫後に石灰窒素を使用し、次作が水稲の場合、次作の農薬使用回数に含まれますのでご注意ください。

活動期間中は田んぼに水が入り次第活動を開始します。
田植直後から防除を心がけてください。

農薬使用のポイント
（スクミンベイト３、スクミノン共通）

○ジャンボタニシは深水になっている場所に集まります。田んぼ周囲に溝を作り、ジャンボタニシを集めて薬剤防除するのが効果的です。
○農薬を食べさせることで効果を発揮しますが、**農薬散布後、3～4日程で粒が崩壊します。**
ジャンボタニシは崩壊した粒は食べないので、必要に応じて2回目の防除を実施しましょう。


深水に集まるジャンボタニシ


田んぼ周囲の溝

効果的な対策・管理方法

稲が生育している時には！大切な３つのポイント

①貝を水田に入れない	水口、水尻に金網（1～2cmメッシュ）またはネット（9mm目）を張る	
②貝を増やさない	貝を潰す。ピンク色の卵塊を水没させる ※卵塊が白色の場合はすでに稚貝が発生しているおそれがあるので、水没させず潰して駆除してください	
③貝に稲を食べさせない	4cm以下の浅水管理を行う	農薬防除と併用するとより効果的です

冬季には！耕うんして貝を潰しましょう！

①トラクターの走行速度を遅くする	特に水口、畦畔付近は密度が高いので丁寧に
②回転数をできるだけ上げる	
③深さは浅くても良い（5cm）	

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○農薬の空袋、空容器などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。

ジャンボタニシの基礎知識

○ジャンボタニシは水田や土中や、水路等で越冬します。
暖冬の翌春は発生が多くなります。
（特に水中では越冬しやすくなります）
○気温が上がり、水田に水が入ると活動をはじめ、水路からも侵入します。
○水温が約15℃以上になると摂食活動を開始します。ジャンボタニシは、自分の殻の高さ以上の水深がないと活発に動けません。よって、水の深い場所に集まりやすい習性があります。
○田植後約3週間までの苗が特に被害を受けやすく、被害が多いと欠株になります。
○夜間に水上に出て産卵します。条件が良ければ3、4日に1度産卵します。これが2、3か月続くので、メスは一生に数千の卵を産むことになります。
○卵は水中で呼吸できないため、水中に沈めると死んでしまいます。

薬剤防除が有効ですが、薬剤だけでなく以下の耕種的防除（薬剤以外の防除）もあわせて行うとより効果的です。

■土壌中の越冬貝の防除（秋季の石灰窒素施用、冬季耕うん）
■水田・水路の防除（卵の除去・水路の泥上げ）
■水路からの侵入防止（取水口にネットや金網を設置する）

石灰窒素には、
次の3つの効果があります

1．稲わら腐熟促進効果（土づくり効果）
秋の稲わらすき込み時に稲わらの上に石灰窒素を散布し、すき込めば、代かきまでに稲わらがよく腐熟して、初期の窒素不足、ワラ浮きやガスわきなどの問題が少なくなり、良質米生産につながります。

2．秋に散布してノビエを退治！！
「石灰窒素」の主成分「シアナミド」には、ノビエの種子の休眠を覚醒させる効果があります。秋の稲刈り後、できるだけ早く石灰窒素を散布することで、田面に落ちているノビエの種子が発芽し、冬の寒さで枯れます。

3．ジャンボタニシの防除に！！
石灰窒素は、水田のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）退治に効果が認められ、農薬登録を受けています。

20kg　当用価格／3,650円
引取価格／3,400円
配達価格／3,450円

農林水産登録第23398号

スクミンベイト３

※2～4kg/10a、散布

①使用時期・回数の制限がないため、スクミリンゴガイ発生時にいつでも散布可能。
②摂食することで中毒症状を生じ、殺貝効果を発揮。
③水生生物への影響が少なく、環境への負荷が低い。

2kg入
当用価格／3,110円
予約価格／2,710円

農林水産省登録第22153号

スクミン®

※1～4kg/10a、散布、2回以内

①主に食毒で作用し、ジャンボタニシに対し急速な麻痺を引き起こす。
②ジャンボタニシに対する誘引性を持っており、処理直後に誘引効果を示す。
③摂食したジャンボタニシに対し、極めて即効的な作用を示す。

2kg入
当用価格／3,260円
予約価格／2,860円

10kg入
当用価格／15,500円
予約価格／13,400円

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
○農薬の空袋、空容器などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。